

ようこそ三浦太鼓店へ！



秋といえば・・・

こんにちは、三浦史帆です！みなさん、秋といえば読書の秋、食欲の秋、紅葉の秋、お祭りの秋などたくさんの秋がありますね！今回はそんな秋から連想されるもので表紙を飾らせていただきました(^^) やっぱ私は食欲の秋です＼(^^)／ 季節に関係なく、常に食べることしか頭にありません(笑) そして何よりやっぱり、秋に各地のお祭りで鳴り響く和太鼓の音は楽しみです(^^)

和太鼓はいきている

～伝統を守り、伝統を創る～

太鼓店新聞

vol. 7

2014年10月



伝統を守り 江戸から来た太鼓

こんにちは、けいさんです！ さて、今回の「伝統を守り」は歴史ある、とある長胴太鼓をご紹介します(^^)

先日、ご縁があり静岡県周智郡森町の天宮神社から太鼓の修理依頼がありました。 見るからに歴史のある長胴太鼓。このように古い太鼓が修理に来ると胴体の中身を見ることが楽しみなんです(>_<) 古い太鼓になればなるほど、多くの太鼓職人の手加わりその職人達の名が胴体の中に刻まれていくのですが、それを見るのが私の楽しみなのです(^^)

さてさて、今回はどのような歴史が見られるのでしょうか？



天宮神社の歴史ある太鼓

江戸のふるさと岡崎



皮を外してみると、やはり歴史ある太鼓。多くの職人の名があり、中には今はもう存在しない遠州森町太鼓問屋の名もありました。そんな中、ひとときわ趣のある文字が書かれていました。それはこの太鼓を作った太鼓師の名で、そこには元禄十年(1697 年)江戸浅草新町で作られたと書かれていました。

今から 317 年前の江戸時代に作られた太鼓が長い年月を経てこの三浦太鼓店へやってきました。

大正12年に遠州森町で張替えられました

江戸と岡崎の地は一見繋がりが無いように思えますが、実は深い関係があるのです！ 皆さん、徳川家康公はもちろんご存じですよ(^^) 徳川家康公は当店のあるご当地岡崎城で生まれたんです。1570 年に静岡県に本拠を移し、その後江戸の地に江戸幕府を創設しました。その為、岡崎は徳川家康公のふるさと、つまり江戸のふるさとと呼ばれているのです。



元禄10年に江戸浅草新町で作られたと書いてありました

この太鼓は江戸で生まれ、静岡県で使われ、そして修理の為に岡崎の地にやってきました。

まるで家康公のルートを辿って、家康公と同じ時代に江戸で生まれたこの太鼓が家康公の想いを乗せて現代の故郷に戻ってきたかのように思えました。

歴史には全く疎い私ですが、こうして歴史あるものを目の前にすると、教科書ではわからない当時の情景が見えてくるような気がします(^^)

古くから受け継がれているものには、本質がしっかりと生きているものです。

和太鼓の本質は“音”。300 年以上前に作られた音は、長い時間を経た現在でも

必要とされています。徳川家康公は常に高い“志”を持ち、天下統一を果たしたと聞きました。

私たちも、彼のように高い志を持ち、何百年も受け継がれていかれる様な

“活きた音”を作っていきます！

(朝倉慶介)

伝統を創る 時代のニーズに応える

世界に一つだけのた〜いこ♪♪

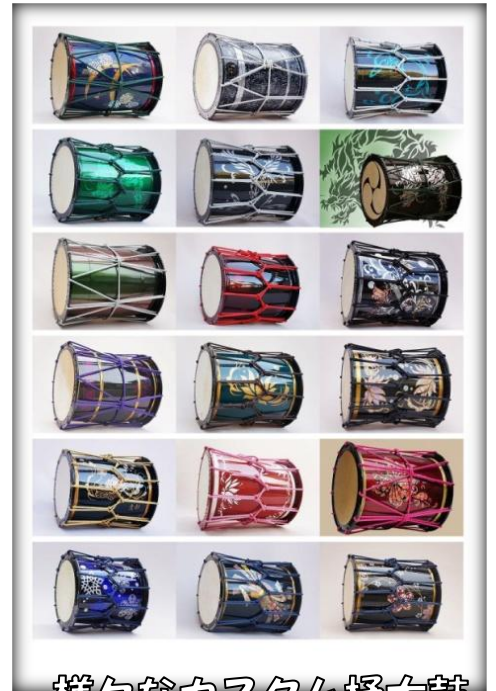
こんにちは、六代目彌市です(^^)/

お陰様で 2014 年度もいろんな太鼓を創らせていただきました！
太鼓って見た目は同じように見えてもやはり、天然・自然の素材を使って作る楽器ですのでふたつとして同じ音、同じものは作れないんです。お一人おひとり、演奏される方の思いやこだわりをカタチにし“世界にひとつだけの太鼓”を創る！
これが私たちの使命だとも思っております(^^)

特にここ数年、個人で所有されることが多くなった担ぎ桶太鼓は自分の太鼓、MY 太鼓である以上オリジナリティがほしいといろんなお客様の声を音にしデザインしカタチにしてきました！

こだわりの想いをより素敵な表現で仕上げられるよう日々研究しています(^^)/

少しずつ作らせていただいている新作の太鼓は私のブログ、
“六代目彌市和太鼓と生きる”の中でご紹介しておりますので
こちらも楽しみにしてくださいね～



様々なカスタム桶太鼓

〈熱き想いをお聞きください!!〉



さて、先日そんな日頃の想いやこだわりを千葉テレビさんの
達人の道という番組に取材いただきました(^^)/

関東方面の放送エリアだったので、私は生で見れなかったの
ですが番組はすぐに放送後 You Tube にアップされたので
世界中誰でも見ていただく事ができます(^^)/

なんて便利な世の中なのでしょうね～。

約 20 分、私と親父が日頃の想いを熱く！語っております！

もうすでに見ていただいた方も多いとは思いますが、

まだだよ～という方は、是非！ご覧いただけたら幸いです(^^)



千葉テレビ 達人の道 の
インタビューを受ける六代目

熱い想いがたくさん詰まった動画です！
ぜひ、ご覧下さい!! →

http://www.youtube.com/watch?v=7HD_OQWd7hU



伝統というのは、守るべき本質をきちんと理解し継承することだと思っています。
守るべき和太鼓の本質をきちんと理解したうえで、現代という時代のニーズに
合わせた新しいカタチを創ることこそ“伝統を創る”ことにつながっていると信じ
これからもどんどんあたらしい太鼓を創っていきたいと思っています(^^)/

た、大切な太鼓が雨で濡れてしまった!!

太鼓打ちなら知っておきたい、万が一大切な太鼓が雨にあたってしまった時は!?

秋のイベントシーズン真っ盛り! 大切な太鼓を守るメンテナンス方法おしらせします

秋のお祭り、イベントシーズン真っ盛りですね～。この季節は一年で一番出演回数が多くなります。さて、今回はそんな太鼓の活躍が多くなるこの季節、突然の天候の悪化に悩まされる…

そんな経験、太鼓打ちならどなたもお持ちですよ～。

私たちもこの天気的神様に過去に何度も悩まされ、苦い経験もあります(>_<)



雨は太鼓にとって大敵!!

太鼓にとって一番の大敵は、そう雨!

特に太鼓の皮というのは、雨で濡れてしまうと皮が水分を吸収し非常に伸びやすくなってしまいます。その結果、濡れた状態で太鼓を叩き続けると完全に伸びきってしまい最悪張替えなければならない…

また馬皮のようにデリケートで薄い皮は破れてしまうなんてことも。

そこで今回は今年の6月の梅雨時期にブログに掲載し、みなさんからの反響も大きかった雨の日の対策&メンテナンスについてお伝えします!



演奏中の雨は本当に大変ですよ

知っててよかった! メンテナンス方法

まず、基本的なお話ですが雨の中での演奏は? もちろんNG×。太鼓の皮は水分を含む事で柔らかく伸びやすくなります。

よって、雨が当たってしまった皮(伸びやすくなった皮)を叩き続けるということは=一生懸命皮を伸ばしてしまっている事になり、

結果皮が緩んでしまう原因になります。皮の張りは太鼓にとって、音をつくる命でありますのでこういう状況は避けていただきたい!

ただ、そうは言ってもどうしてもちよつとの小雨や演奏中に雨が降ってきてしまう…そんな経験私達だってあります(>_<)

そういう時は、演奏後に以下3つの対応をきちんとしていただければ大丈夫ですのでご安心ください!

太鼓メンテナンス3ヶ条

- ①濡れてしまった太鼓の表面、胴体を乾いたタオルでよく拭き取る。
- ②締太鼓や桶太鼓など、皮を緩める事ができる太鼓はすぐに緩めてください。
※テンションをかけ、皮に負担がかかった状態だと皮が伸びやすく張りのバランス=音のバランスが崩れてしまいます。
- ③演奏後はカバーなどにはすぐに入れずに、湿度の低い環境でゆっくり乾かしてあげる。日陰や涼しい場所でゆっくり乾かしてあげると良いです。
※ただし、③の乾燥について、皮は極度の温度や湿度の変化を与えるとこれも負担がかかりすぎて破れてしまうなどの原因にもなりますので、直射日光や熱いドライヤーなどは避け、日陰や涼しい場所で扇風機などあててゆっくり乾かしていただくのが一番よい方法かと思います。
そして、しっかり乾きさえすればまた同じように問題なくご使用いただけます(^-^)



カバーに入れず、テンションを緩める!



ゆっくり乾かしてあげましょう

祭り本番でいよいよ太鼓が屋外で、また各地で活躍するこの季節です。

きちんとメンテナンスしていただければ雨の日の対応も心配なく長く

愛用いただけると思いますのでご参考ください!

さて、今週のイベントも雨降らない事を祈って!!!

(六代目彌市)

太鼓づくり vol. 7

締太鼓づくり その2

このコーナーでは、前月号から締太鼓の皮作り作業を取り上げております。
さて、今回は締太鼓の皮も完成間近！目に糸を通して皮を縫っていきましょう！

皮を縫う絶妙な力加減



パンパンに張り上げた皮



手の感覚を確かめながら縫い合わせる

皮を縫っていく作業も、もちろん全て手作業です。縫っていく際、表の皮と裏の皮との間に隙間が空かないようにしっかりと縫い合わせていきます。しかし！皮はパンパンに張っているので、ちょっとやさそとの力では縫い合わせることができません(*_*) だからと言って、力任せに糸を引っ張ると皮が切れてしまいます。

皮の性質・厚さ・張り具合を把握し、糸を引っ張る際に手に伝わる感覚を頼りに、皮が切れない且つ、表と裏の皮がしっかりと合わさる絶妙な力加減で縫っていきます。この力加減は本当に難しいです！私も仕事を始めた頃は力加減がわからず、何枚もの皮を切ってしまうダメにしていまいしました。逆に皮が切れるのを恐れて、しっかりと縫い合わせれていない皮になってしまうこともありました。言葉では表現しきれない感覚の世界。たくさんの失敗が自分の経験となり、今では皮を切ってしまうことなくしっかりと縫い合わせる事が出来るようになってきました！

ちょっと豆知識

2丁と3丁の違いって？

締太鼓には、並附・2丁・3丁・4丁掛締太鼓というようにいくつかの種類があります。
その中でも、2丁・3丁掛締太鼓の違いについて、今回少しお話させていただきます！

2丁・3丁を比べると、まず見た目で違いがあります！
3丁の方が淵のリングが太く厚みがあり全体的に大きく見えます。次に重要な音の違いですが、3丁の方が音に深みがあり、皮も2丁に比べ厚い皮を使って作っています。
そして、実は皮作りの過程でも2丁・3丁で違いがあるのです。
2丁は先ほど紹介したように自分の手のみで縫い上げていきます。しかし3丁ほどリングが太くなると、手だけで縫い合わせることができません(;;) そこで、三浦太鼓店では特殊な治具を使い、皮を縫い上げていきます。普通に縫うよりも倍近く時間の掛かる作業ですが、仕上がりの良さ・音にこだわる以上、妥協できない作業なのです。

締太鼓はサイズが大きくなれば皮の厚みと音の深みが増しますが、それぞれのサイズにそれぞれの音の特徴、バランスがありますので使用目的に合ったサイズをお選びすることをおすすめしております(^^)

(朝倉慶介)



3丁のリングは太いので特殊な治具でしっかり擦む



手間の掛かる作業ですが良い太鼓を作るために手は抜けません

活きた和太鼓の

音

を届ける

おやじのつぶやき

天高く馬肥ゆる秋!!

夏も終わり、過ごしやすい季節となりました。
皆さん秋のイベントなどでそれぞれ
忙しいときを過ごされていると思います。
おやじはなんと、腰を痛めてしまいました(*_*)
病院へ行ったら、先生から「背中から腰にかけて
の骨が硬くなっていて、これは老化のはじまり
ですね」と一言。(泣)
そっけなく現実を突きつけられて、情けないやら
で落ち込んでいます。
その後は毎日ストレッチに励んでいます。
まだまだ若い者に負けられません(>_<)
ガンバ!!ガンバ!!

編集後記

こんにちは、三浦史帆です(^^)!

夏の暑さが和らぎ過ごしやすい季節になってまいりました。日中はまだまだ暑いですが、朝晩に肌寒さを覚えたり、吹いてくる風に爽やかさを感じます。今まで、こんな風に季節をじっくり感じてみることもあまりなかったのですが、この新聞を通して、色々なことに向き合っている事を幸せに感じます(^^)!

いつも三浦太鼓店新聞をご購読いただき誠にありがとうございます。

今後ともどうぞ、宜しくお願い致します。

新着&イベント情報

平成27年1月23日(金)、24日(土)

今年もやります!東京展示会



【会場】ラパン・エ・アロ(1F)

【住所】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-44-2

【お問い合わせ】㈱三浦太鼓店 TEL:(0564)21-2271

詳細は次号新聞または三浦太鼓店 HP で!!



あの人?がついに登場!

何かと噂の岡崎のゆるキャラ
オカザえもんが東京で大暴れ!
ぜひ会いに来て下さいね!

2014年10月26日(日) 第6回 佐久島太鼓フェスティバル

海の香り、波の音に乗せて島中に鳴り響く和太鼓
の音をみなさんぜひ体感しに来てください!



開場: 佐久島大浦海水浴場

時間: 10:00~14:30

入場無料 小雨決行

お問合せ: 三浦太鼓店

TEL 0564-21-2271

出演チーム: 佐久島太鼓保存会・一色高校和太鼓
部・和太鼓零~ZERO~・楽風打・和太鼓ごんべ・
和っ鼓・華音・雅會志津香

<購読無料>

この新聞は不定期で発行しております。
購読ご希望の方は HP の三浦太鼓店新聞
請求フォームからご請求ください。

URL <http://www.taikoya.net/sinbun.html>

発行責任者: 朝倉慶介 三浦史帆

〒444-0072 岡崎市六供町杉本 32-2

慶応元年創業

株式会社

三浦太鼓店

TEL(0564)21-2271

FAX(0564)21-2272

E-mail info@taikoya.net

URL <http://www.taikoya.net/>

HP、SNS紹介

・三浦太鼓店 HP

・六代目フログ

「和太鼓と生きる」

・三浦太鼓店

facebook ページ

